

今月号の紙面
 東京都からのお知らせ……………2面
 地域からのお知らせ……………2面
 舟久保副会長寄稿……………3面
 都公社から2020プロジェクトお知らせ……………3面
 工団連からのお知らせ・報告……………3面
 生命・退職金共済のお知らせ……………4面
 企業リレー探訪……………4面
 工団連からのお知らせ……………4面
 東京国際フォーラムからのご案内……………4面

工 団 連

発行所
 一般社団法人 東京工業団体連合会
 東京都中央区銀座2-10-18
 東京都中小企業会館5階
 電話 (03) 3546-2525
 F A X (03) 3546-2853
 (購読料1部100円、年間600円 会費より徴収)
<https://www.tokyo-koudanren.or.jp>

令和4年度

東京都に対する工団連の予算等要望

東京工業団体連合会は、「令和4年度東京都予算等に関する要望」を取りまとめ、9月2日東京都議会自民党・東京都、更に9月7日には他会派にも予算要望書を提出した。今年度の要望事項は重点要望4項目(14事項)、一般要望6項目(9事項)の併せて10項目(23事項)である。今後は11月以降に小池都知事、自民党東京都連への要望を実施予定。

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、一部の都議会会派へは文書による提出となったが、都議会自民党には9月2日に予算要望を行った。

西山賢都議の司会進行で開始された要望会議は、都議会自民党新3役紹介の後、小宮あんり幹事長より挨拶があった。挨拶では『工団連の日頃の支援・協力に対する謝意、都議会第1党としての責任のもと、東京のものづくり中小企業をしっかりと支えて行く』との力強い言葉が述べられた。

引き続き廣瀬会長の挨拶があり、『コロナ禍で苦境に立つ、ものづくり中小企業への更なる支援継続を訴えた。』その後事務局より具体的な要望事項の説明と続いた。

更に議員との質疑応答へ続き、最後に『ものづくり中小企業団体代表としての工団連からの要望はしっかりと受け止め、今後変わらぬ支援を継続する』との言葉があり、会は終了した。

工団連は、今後も都内ものづくり中小企業の支援のために、東京都議会、東京都と緊密に連携し活動を進めて行く。

令和4年度予算等要望書(重点要望)が国経協は、新型コロナウイルス感染症拡大による数度の緊急事態宣言等に伴うイベントや外出の自粛等により幅広い業種で需要構造が変化し、事業者は深刻な経営状況に陥っている。こうした厳しい経営環境の中では



廣瀬隆博会長挨拶

東京都議会自民党、他会派、東京都に要望

【中小製造業に関する要望(重点要望)】
 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 以下の支援を要望した

都や国による支援策の拡充に加え、自ら生産現場の効率化や社員教育の強化、従来業務の見直しなどにより、経営体質の改善を図ることが必要である。しかしながら現状は、多くの中小事業者においては、総じてノウハウ不足や関連機器の導入経費等がネックとなっている。ついでに、以下の支援を要望いたします。

2 中小製造業の事業継続について
 (1)新製品・新技術開発・事業化に対する支援を継続するとともに、使い勝手の改善やソフト面の支援を強化するなど、より利用しやすい制度となるよう拡充を図りたい。

3 ものづくり人材の育成について
 (1)若年者や女性、高齢者、障害者、外国人など多様な人材の確保と働き方改革への対応など、中小企業経営者の負担は増えています。従業員が安心して働くことのできる雇用環境の確保と、企業内の体制整備のための社内教育に対する助成などの支援を拡充・強化されたい。

4 中小製造業のネットワーク強化について
 (1)東京工業団体連合会の事業運営が円滑に遂行できるように、引き続き組織体制の強化に対する支援と事業予算の確保・継続を図りたい。

5 東京の立地競争力を強化するための税制の見直しについて
 (1)固定資産税・都市計画税の小規模非住宅用地の軽減措置を令和4年度以降も継続されたい。また、軽減割合を引き上げられたい。

6 防災対策への支援について
 (1)防災対策として、工場等の建築物の不燃化・耐震化や地震、水害、集中豪雨対策などに対する助成、長期低利融資等の支援を拡充されたい。

7 受発注取引のプラットフォーム「ビジネスチャットホーム」(ナビ2020)による受注機会の確保について
 (1)これまでの取引成果・効果を検証・公表するとともに、更なる発注案件の掘り起こしで、より多くの中小企業が受注機会を得られるよう迅速な案件情報の提供など、利便性向上に向けた取り組みを強化されたい。

8 中小企業の情報セキュリティ対策について
 (1)新型コロナウイルス感染症対策として、中小企業においてもテレワークによる在宅勤務が増加しており、ソフトや機器の更新が必要となっており、企業単体ではなかなかセキュリティ対策を進めることが難しいため、経営資源が限られた中小企業であっても、十分なセキュリティ対策ができるよう、アドバイスや普及啓発、安全対策導入・運用に対する支援措置を講じられたい。

9 製造業における外国人材の受入れについて
 (1)ものづくり中小企業においても人手不足は深刻であり、採用にあたっての法的手続きや留意事項について周知する外国人労働者受入れセミナーの開催や外国人労働者との交流の場を引き続き設けられたい。また、製造業における受け入れ対象業種の拡大やものづくり人材の受入れに当たっては、長期間を要する熟練工の育成・定着に不可欠な定住が可能となる制度の創設など、社会基盤の整備・促進について国への働きかけをされたい。

10 アフターコロナに向けた支援策について
 (1)極端な消費行動の減速などにより経済が停滞、疲弊している。ついでに行政需要の創出が必要である。SDGsなどを念頭に先行事例を示されたい。

以上が今年度の東京都に対する要望事項であるが、工団連では今後とも実現に向けて活動を続けて行くので、支援をお願いいたします。

尚、詳細版は工団連HPに掲載しているのをご確認ください。



小宮あんり幹事長よりご挨拶

以下の支援を要望いたします。

(1)協力金・給付金・助成金による事業継続、雇用確保、職場環境対策や中小企業制度融資等による資金繰り支援や返済猶予、税金の支払い猶予など、中小企業の経営困難に対応した各種支援策を拡充・継続されたい。

(2)各種支援策の実施に当たっては、申請書類の簡素化や、オンライン申請の活用、審査のスピード化などに努められたい。

(3)産業労働局が発行している「新型コロナウイルス感染症に係る支援策」パンフレットは大変分かりやすいので、適時更新しHPやパンフで引きつづき周知されたい。また、区市等の支援策についてもHPやパンフで周知されたい。

(4)地域のものづくり企業が中心となり、複数の企業(技術・特徴・得意分野を活かして)で一つの製品(部品)を製作するなど、技術力のネットワークを活用して取り組むプロジェクトに対する支援を継続されたい。

(5)ものづくりとIT技術との融合による需要開拓・新製品開発・販路拡大

(6)中小企業経営者の高齢化などによる廃業は、高い技術やノウハウ、雇用の喪失となり、地域経済にとって大きな損失となることから、従業員や第三者への事業承継するためのマッチング、M&Aに関する支援、融資制度を拡充されたい。特に、小規模企業のM&Aについてはきめ細かな行政支援(相談窓口など)を検討されたい。

(7)新型コロナウイルスの影響により外部への行動が制限される中で、高校生に対するインターンシップ制度やデュアルシステムの中小企業への利用拡大は困難な状況にあるが、オンラインの活用など代替方法による新たな取り組みを検討されたい。なお、その際は受け入れる企業の負担軽減を引き続き図られたい。

東京都からのお知らせ

産業交流展2021 を開催します

リアル×オンラインでビジネスマッチングを加速する

産業交流展

TOKYO INTERNATIONAL INDUSTRY EXHIBITION

2021 11.17(水) 12.10(金) 公式オンライン会場
11.24(水) 11.26(金) 東京ビッグサイト南展示棟



感染症の感染拡大状況により、オンライン展のみの開催となる場合があります。

◎会場：東京ビッグサイト南展示棟(江東区有明)

◎入場：無料(要登録)

◎出展分野：
①情報②環境③医療・福祉④機械・金属

◎メインステージ：
基調講演・特別講演など各種ビジネスセミナーを開催

◎特別企画：
脱炭素ゾーン、感染症対策ゾーン、東京都食品産業フェア、東京ビジネスフロンティア、

次世代ロボットゾーン、首都圏テクノネットワークゾーン、国際ゾーン、特別商談会 ほか

◎同時開催イベント：
世界発信コンペティション表彰式、東京都経営革新優秀表彰式、

東京カインシャッペン ツアー

◎主催：産業交流展2021

開催し、「リアルとオンラインの融合」による新たなビジネスマッチング等の機会を提供します。

◎リアル展：
11月24日(水)・25日(木)・26日(金) 開催
午前10時～午後6時(最終日5時終)

◎オンライン展：
11月17日(水)から12月10日(金)まで開催

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、

開催し、「リアルとオンラインの融合」による新たなビジネスマッチング等の機会を提供します。

開催し、「リアルとオンラインの融合」による新たなビジネスマッチング等の機会を提供します。

第23回産業ときめきフェア

FIELDGAWA開催へ

産業ときめきフェアは、製造業を中心とした企業の優れた製品・技術力を紹介し、ビジネス情報・交流促進や、企業の活性化を図ることを目的として開催します。なお、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、今回は「オンライン」で開催します。



現在を語る、未来を創る、江戸川のものづくり

◆会期：
11月19日(金)午前10時～12月18日(土)午後4時まで

◆入場料：無料
(HP) <https://sangyoutokimeki.jp/>

◆主催：産業ときめきフェア実行委員会・江戸川区
◆後援：経済産業省関東

21実行委員会(東京都、東京都商工会議所、東京都商工会連合会、東京都中小企業団体中央会(株)東京)

ツグサイト、(公財)東京都中小企業振興公社、(地独)東京都立産業技術研究センター

◎連携：(一社)東京工業団体連合会、(独)中小企業基盤整備機構、東京信用保証協会、東京中小企業投資育成

◎お問い合わせ：産業交流展2021運営事務局(電話03-6811-6218)

「職場のメンタルヘルス対策推進キャンペーン」実施中

9月1日～11月30日

東京都では、誰もがいきいきと働ける職場づくりの実現を目指し「職場のメンタルヘルス対策推進キャンペーン」を実施しています。

【個別相談会】
▽相談実施日：11月24日(水)、11月30日(火)
▽時間：9:30～15:50(1社あたり40分、入れ替え制)

【シンポジウム】
▽開催方式：オンライン形式(オンデマンド配信)
▽配信期間：11月17日(水)～11月30日(火)
▽参加料：無料/要予約

▽参加料：無料/要予約
▽基調講演：「ポジティブなメンタルヘルス対策」

【お問い合わせ】
産業ときめきフェア実行委員会事務局(江戸川区産業経済部産業経済課)
電話05662-0525

【お問い合わせ】
産業ときめきフェア実行委員会事務局(江戸川区産業経済部産業経済課)
電話05662-0525

第25回いたばし産業見本市

製造と加工技術展2021開催

板橋区は区内有数の工業集積地であり、光学・精密機器産業をはじめとする数多くのものづくり企業が、日々技術の向上

「ものづくり人材育成」について(所感)
近年教育現場では、就職の際の学生と企業とのアンマッチングを解消するためにキャリア教育の充実が言われている。

代表取締役社長、清水雄一郎氏(三興塗料 代表取締役)

講師：宮坂平氏(日本歯科大学名誉教授)

くは「いたばし産業見本市」
<https://www.itabashi-ie.jp/>
電話：03-3579-2191

局(公財)板橋区産業振興公社内
電話：03-3579-2191
Eメール：
iie@itabashi-ko-hsha.com

東京都藤田教育長との懇談報告(寄稿)

工団連の舟久保副会長は9月29日に東京都庁で藤田教育長と「ものづくり人材育成等」について懇談の機会を得た。今回、舟久保副会長より寄稿いただいたので掲載する。

舟久保副会長は都の職業訓練教育関係の委員に就任しており人材教育に情熱をもつて長く活動している。また地元大田区や自社においても工業高生校の採用育成や、外国人材の採用経験も有り、就職の際の学生と企業とのアンマッチングを解決する。しかし、その実行にあたっては、学生が自力ではできないため、教育関係者、特に現場の教師が走り回らないと始まらず、負担が増えるのが現状である。



東京都藤田裕司教育長と舟久保明副会長

「ものづくり人材育成」について(所感)
近年教育現場では、就職の際の学生と企業とのアンマッチングを解消するためにキャリア教育の充実が言われている。

「ものづくり人材育成」について(所感)
近年教育現場では、就職の際の学生と企業とのアンマッチングを解消するためにキャリア教育の充実が言われている。